

施行者：岸和田市長  
 施行面積：57.75ha  
 施行期間：昭和39～52年度  
 総事業費：約4,225百万円  
 減歩率：19.03%（公共19.03%）  
 計画人口：約4,300人

都市計画決定：昭和48年2月14日  
 事業計画認可：昭和48年5月10日  
 仮換地指定：昭和50年11月21日  
 換地処分：平成6年3月4日

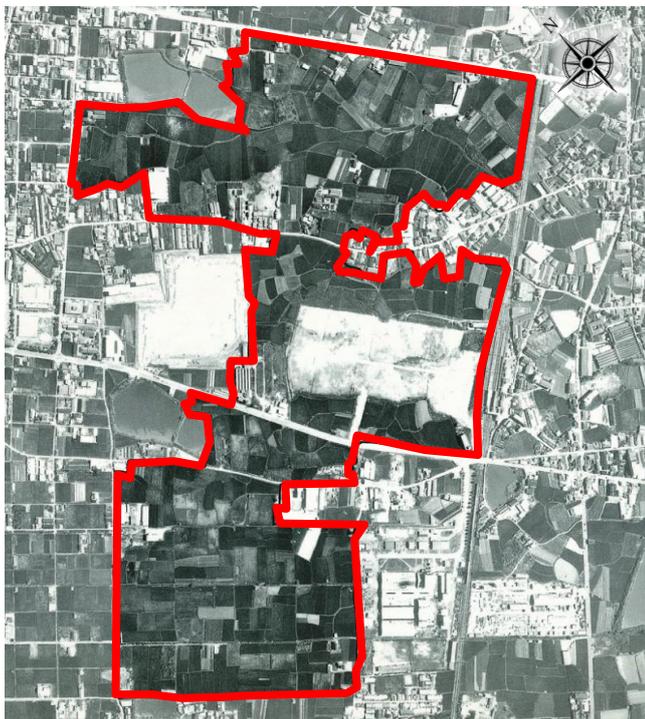
本地区は岸和田市の南西部に位置し、岸和田港福田線より貝塚市行政界にいたる、JR阪和線と私鉄南海本線との間にあり、これらに平行した帯状の区域である。

国道26号（第二阪和国道）の建設に伴い、この沿線を中心として急速な宅地化が予想されるので、都市計画道路岸和田土生郷修斉線、岸和田駅東停車場線、南上線などと公共施設の整備改善を行い、土地利用の増進を図り用途地域制と調和のとれた市街地を築くものである。

▼位置図



▼航空写真（施行前：昭和45年）



▼土地利用内訳

	施行前		施行後	
	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)
公共用地	4.81	8.33	14.89	25.78
宅地	52.94	91.67	42.86	74.22
合計	57.75	100.00	57.75	100.00

▼航空写真（施行後：平成6年）

